

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

風船ことはじめ

11月
下旬刊

風船も伝えたのは
平賀源内か。
馬場為八郎か!

◆松尾龍之介◆

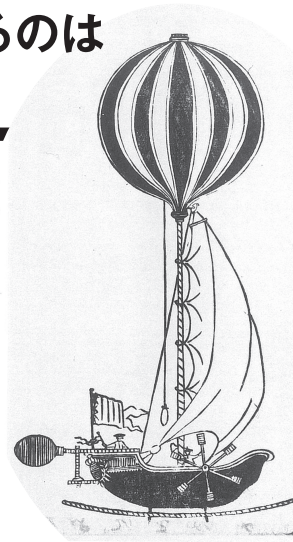
四六判320頁 定価2200円+税
ISBN:978-4-86329-278-9

◆秋田県仙北市西木町に伝わる〈紙風船上げ〉 行事の由来はどこから？

◆風船に、「船」の文字が付いているのは なぜなのか。

1783年、フランスで世界初の熱気球飛揚。
1804年、長崎で日本初の熱気球飛揚をへて
1837年、秋田へその知識と技術が伝えられる
までを描いた壮大な物語。

秋田県仙北市西木町上桧木内(かみひのきない)という内陸の地方に「紙風船上げ」という幻想的な伝統行事が今も続いています。2月10日の雪深い日に行われますが、それぞれの紙船は巨大で、大きさが縦10mを超えるものもあります。なぜこの地にこのような奇祭が伝えられているのかを、文献と史実をもとに歴史を解き明かしたのが本書です。



目次から	
I	最初の気球飛揚 江戸の蘭学者・大槻玄沢
II	「リュクトシキップ」 桂川家の人々
III	キリシタン国から来た漂着民
IV	和紙でつくられた熱気球
V	紅毛読書達人・馬場佐十郎
VI	蝦夷のロシア人捕囚たち シャーロット号の再来
VII	ゾーフ・ハルマ
VIII	国禁を破った葛飾北斎
IX	シーボルト台風 流刑人・馬場為八郎 みちのくの熱気球
	【付記】「風船上げ」と 「オランダばた」 ほか

《著者の横顔》 松尾龍之介(まつお・りゅうのすけ)昭和二十一年、長崎市生まれ。昭和四十四年、北九州市立大学外国語学部卒。昭和四十六年上京。漫画家・杉浦幸雄に認められる。主に「漫画社」を中心に仕事をする。洋学史研究会会員。[主な著書]『漫画俳句入門』(池田書店)『江戸の世界聞見録』(蝸牛社)『なぜなぜ身近な自然の不思議』(河出書房新社)『マンガNHKためしてガッテンーわが家の常識・非常識』(青春出版社)『マンガ版ママの小児科入門』(法研)『長崎蘭学の巨人 志筑忠雄とその時代』(弦書房)『長崎を識らずして江戸を語るなかれ』(平凡社)『江戸の〈長崎〉ものしり帖』『小笠原諸島をめぐる世界史』『幕末の奇跡—〈黒船〉を造ったサムライたち』『鎖国の地球儀—江戸の〈世界〉ものしり帖』『踏み絵とガリバー—鎖国日本をめぐるオランダとイギリス』『絹と十字架—長崎開港から鎖国まで』(以上、弦書房)

【FAX: 092-726-9886】

書店・帖合 ご担当者様	流通センター 取扱品	風船ことはじめ 松尾龍之介 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-278-9
		絹と十字架 長崎開港から鎖国まで 松尾龍之介 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-208-6
		踏み絵とガリバー 鎖国日本をめぐる オランダとイギリス 松尾龍之介 定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-181-2
	ご注文日 様 [/]	弦書房 —Genshobo— 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com